

## 事業の基礎情報

実施主体	佐伯市
事業実施地域	大分県佐伯市
共創の類型	官民共創 ・ 交通事業者間共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉 ・ こども・子育て ・ 教育・スポーツ・文化 ・ 商業・農業 ・ 宅配・物流 エネルギー・環境 ・ 地域・移住 ・ 金融・保険 ・ 観光・まちづくり ・ その他
共創パートナー	米水津地域コミュニティ協議会 よのうづ国際交流の会 大分県タクシー協会
運行形態	AIデマンド交通（配車システム等）
運行主体	米水津地域コミュニティ協議会

## 取組の概要

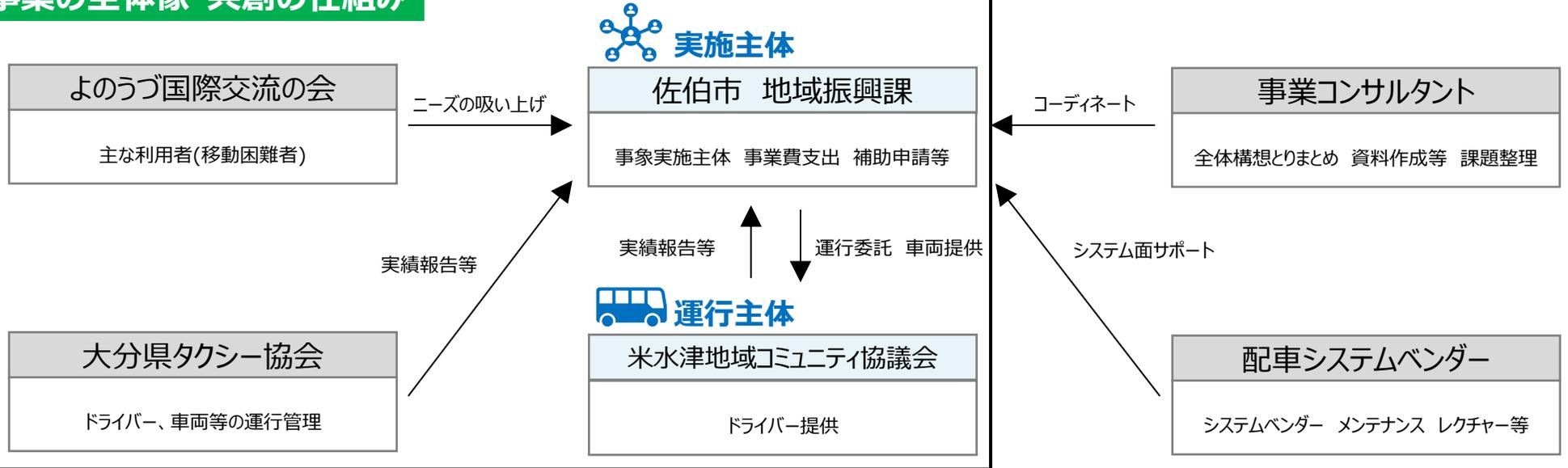
**（現状の地域課題と事業目的）**

佐伯市米水津地区は多くの水産加工会社が密集する産業地域であり、若い外国人技能実習生を多く受け入れている。佐伯市は九州で一番広い市であり移動手段は車が必須である。コミュニティバスも土日は減便もしくは運休しており、技能実習生が買い物等に行きたい場合でも交通手段がない状況である。また、当地区の高齢化率も50%を超えており、自ら移動できない高齢者も多い。こういった問題を解決するため、市、大分県タクシー協会(地元タクシー会社)、米水津地域コミュニティ協議会が共創し「ささえあい交通」として移動困難者の支援を行う。

**（事業の概要）**

米水津地域コミュニティ協議会のメンバーがドライバーとして運行を実施。移動用の車両を導入し、Web上で配車が可能なシステムの実証実験を行う。車両及びドライバーについて大分県タクシー協会を通じて地元タクシー業者に管理委託する。この実証試験により、課題等を整理し、将来的な移動困難者への支援につなげる。

## 事業の全体像・共創の仕組み



## 取組の詳細

### (地域の関係者との連携・協働)

コミュニティバスを運行する佐伯市と米水津地域コミュニティ協議会が連携・協働することで移動困難者にむけた移動サービスを行う。

### (実証事業により見込まれる効果)

週末に公共交通が運行していないまたは便数が少ない米水津地域において移動手段を確保し、交通利便性の向上を目的とする。これにより、米水津地区の技能実習生（対象者70名程度を想定）や高齢者等の移動困難者を地域のささえあい交通で支援することによって住みやすいまちづくりの一助とする。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

プロジェクト名 佐伯市よのうづ ささえあい交通推進事業			共創メンバー					
目的			佐伯市地域振興課	米水津共創プラットフォーム協議会	よのうづ国際交流の会	大分県タクシー協会	システムベンダー	コンサルタント
移動困難者の支援 交通利便性の確保								
区分	作業内容	期間						
申請等	国申請 予算確保	4月～6月	◎					
事業内容協議	役割分担 システム選定 コンサルタント選定	5月～7月	◎	○	○	○		
企画協議	詳細内容企画 共創者間の調整	8月～9月		○	○	○	○	◎
実証試験	運行主体による実証試験	10月～12月		◎	○	○	○	
検証作業	課題抽出 今後の展開検証	(翌年)1月	○	○	○	○	○	◎
実績報告	検証結果まとめ 実績報告	(翌年)2月	○	○	○	○	○	◎

(補助事業実施後の予定)

- ・技能実習生や事業所、地域のニーズに応じて、事業を継続することも検討する
- ・システムが、他地域の技能実習生や運転免許を返納した高齢者などの移動困難者等の支援に応用できるかの検証
- ・佐伯市内の他地域で同システムを活用したデマンド交通の有用性についても検証を行う